



栃木県立さくら清修高等学校

全
日
制



所在地 〒329-1311 さくら市氏家2807
 電話 028-682-4500
 F A X 028-682-0358
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/sakuraseishu/nc2/>
 創 立 平成18年
 課 程 全日制課程
 設置学科 総合学科
 生徒数 708人(男子284名 女子424名)
 (令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 JR氏家駅から徒歩約15分

I 学校の概要

全国初の総合学科高校の一つとして平成6年に総合学科を開設。平成18年に氏家高校と喜連川高校が統合し、さくら清修高校が開校。今年、創立16年目を迎える男女共学校。

1 学校教育目標

- 知性に満ち、創造性に富む人を育てる。
- 心身ともに健康で、情操豊かな人を育てる。
- 郷土を愛し、国際的視野をもち、ともに生きる人を育てる。

2 目指す学校像

- 自主自立：自立心や協調性を培うとともに、コミュニケーション能力を育成するなど社会への準備を行う学校
- 進取創造：総合学科の特色を生かし、将来を見つめ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、生徒一人一人の進路目標を実現できる学校
- 敬愛協働：地域との連携による教育活動をととし、地域に寄与し、地域から求められる学校

3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、総合学科の内容・本校の教育目標・目指す学校像を理解し、次の（1）から（3）までの全てに該当する生徒

- （1）自主的に粘り強く学習に取り組むことができ、基礎学力が十分に身に付いている生徒
- （2）基本的な生活習慣が身に付いており、高校生活に主体的に取り組む意志のある生徒
- （3）高い進路意識があり、自己の進路実現に向けて計画的・継続的に努力できる生徒

4 校 訓 自主自立 進取創造 敬愛協働

5 沿 革（詳しくは学校ホームページを参照してください）

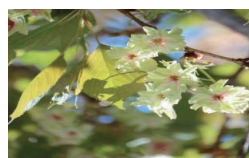
大正13年	栃木県立氏家高等女学校創立	昭和21年	栃木県立喜連川農学校創立
昭和23年	氏家高等学校と改称、男女共学開始	昭和23年	喜連川農業高等学校設置
昭和25年	家庭科募集開始（普5+家1学級）	昭和24年	喜連川高等学校と改称
昭和26年	栃木県立氏家高等学校と改称		普通科、農村家庭科、定時制農業科増置
	18学級定員900名となる	昭和26年	栃木県立喜連川高等学校と改称
平成 6年	総合学科開設（8学級）	平成10年	普通科サービス経営コース新設
平成16年	創立80周年記念式典挙行	平成18年	創立60周年記念式典挙行
平成18年	栃木県立さくら清修高等学校開校（栃木県立氏家高等学校と栃木県立喜連川高等学校が統合）		
平成27年	創立10周年記念式典挙行		
令和 3年	第13回卒業式挙行		

教育施設として教室棟・多くの特別教室のほか第一（講堂）・第二体育館、武道場（柔剣道場）、広大な校庭等、豊富な施設・設備を有しています。また、四季折々の季節の変化を楽しむことができます。



(冬服)

(夏服)



御衣黄（正門正面）



古代ハス（東館南・蓮池）

Ⅱ 本校総合学科の特色

◇幅広い選択科目

ひとりひとりの進路選択や適性にそって自由な科目選択ができるよう、多くの講座を開設しています。
令和4年度入学生カリキュラム（案）

通時間 年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
	1年	現代の 国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ		数学A		化学基礎	科学と 人間生活	体育		保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理 表現Ⅰ	家庭基礎	情報Ⅰ	産業社会 と人間		LHR													
2年	論理国語	体育	保健	論理 表現Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ		公共		総合的な探究 (課題研究)		選択科目（19時間）															LHR									
3年	論理国語	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ		総合的な探究 (課題研究)		選択科目（21時間）															LHR											

※選択科目は、以下の5つの系列の選択科目例を参考にしてください。

◇進路に合わせた時間割

5つの系列を目安に自分の進路希望に合わせ、たくさんの選択科目の中から、主体的に科目を選択し、学習します。系列とは、進路希望に合わせた科目選択の目安となるように、科目を体系、専門性でグループ分けしたものです。一つの目安ですから、複数の系列からも選択することができます。

【系列】	【内 容】	【選択科目例】
人文学	文学・歴史・地理等について学び、主に文系国公立大学進学をめざします	文学国語 古典探究 歴史探究 文化史 実践数学 応用生物 応用化学 など
国際・文化	主に外国語や芸術・文化について学び、文系・芸術・体育・家庭系の私立大学・短大・専門学校進学をめざします	異文化理解 ヴルフェージュ 臨書 服飾手芸 フードデザイン ビジュアルデザイン 保育 など
自然科学	自然科学を体系的に学び、主に理系国公立大学進学をめざします	古典探究 数学Ⅲ 数学C 物理 生物 化学 地歴研究 など
数理・生命	主に数学や理科について学び、理系私立大学や看護・福祉系の短大・専門学校への進学をめざします	基礎数学 実践数学 物理基礎 生物基礎 スポーツ など
情報・サービス	情報や商業に関する知識や技術について学び、情報系や商業系の大学進学から就職まで様々な進路をめざします	簿記 原価計算 情報処理 財務会計 ネットワーク活用 ソフトウェア活用 など

◇少人数による授業展開

授業は、個別指導やグループ学習など少人数で行われることが多く、きめ細かな授業を展開します。

◇充実したスクールライフ

語学、芸術、体育、家庭など、教科の学習と部活動等が連動して、多彩で充実した高校生活を送ることができます。

【進路実現への具体策】

- （1）個に応じたカリキュラムと指導の充実
 - ・面接週間の充実（学習・生活相談週間）
 - ・定期テスト前の学習会
 - ・科目選択指導の徹底 等
- （2）進路意識の向上と職業観・勤労観の醸成
 - ・進路情報の提供
（進路講演会、卒業生による進学座談会、大学との連携推進 等）
 - ・体験学習の充実
（上級学校訪問、各種検定・資格取得、海外語学研修、事業所見学、ボランティアの推進、インターンシップ 等）
- （3）学力の向上
 - ・課外（平常、長期休業、受験対策学習会、土曜課外 等）
 - ・習熟度別学習、少人数授業、土曜開放 等
 - ・基礎学力テスト（英単語・漢字等）、課題テスト、校外模試 等



Ⅲ 進路状況（令和3年3月卒業生の主な合格実績）

【国公立大学】

宇都宮大、高崎経済大、福島大、長崎大、山形大、宮城教育大、静岡文化芸大、福知山公立大 など

【私立大学】

日大、東洋大、駒澤大、東京農大、文教大、大東文化大、フェリス女子大、神奈川大、大妻女子大、東北学院大、南山大、国際医療福祉大、白鷗大、作新学院大 など

【短期大学】

作新学院大女子短大、國學院大栃木短大、佐野日本大短大、戸板女子短大 など

【専修各種学校】

栃木県立衛生福祉大学校、栃木医療センター附属看護、済生会宇都宮病院看護、獨協医科大附属、国際医療福祉大学塩谷看護、昭和大医学部附属看護、さくら総合、栃木県立農業大学校、文化服装学院、尚美ミュージックカレッジ など

【就 職】

栃木県警察、宇都宮市役所、那須烏山市役所、株式会社TKC、日本郵政株式会社、キャノン株式会社 など

Ⅳ 特別活動の状況（学校行事，部活動等）

◇多彩な学校行事

学校行事やホームルール活動を通して、自立心や協調性を培うとともにコミュニケーション能力の育成を目指しています。

特に、「球技大会」・「桜花祭」・「体育祭」・「マラソン大会」は本校の四大大行事と呼ばれ毎年実施しています。



〔主な行事の抜粋〕

- 4月 新入生オリエンテーション 入学式 始業式 部活動紹介
- 5月 生徒総会 交通講話 薬物乱用防止教室
- 6月 進路座談会 球技大会 生徒会役員選挙 性教育教室
- 7月 芸術鑑賞会 夏季課外 3年次受験対策学習会 野外活動（キャンプ） インターンシップ
- 8月 一日体験学習 赤十字救急法講習会
- 9月 桜花祭（学校祭） 大学模擬授業 総合学習（課題研究）発表会
- 10月 体育祭 アメリカ合衆国短期留学
- 11月 マラソン大会 インターンシップ発表会 修学旅行
- 12月 共通テスト特別講義 冬季課外
- 1月 野外活動（スキー・スノーボード）
- 3月 卒業式 進路状況説明会 修業式 春季課外

◇充実の部活動

○部活動の実績（過去3年間）

どの部活動においても日々活発に活動しており、全国大会や関東大会出場をはじめ、多くの部活動が県大会上位進出・入賞をしています。

全国大会出場	陸上競技部 弓道部 ビジネス研究部 全商英語スピーチコンテスト
国体出場	陸上競技部
関東大会出場	陸上競技部 弓道部 サッカー部 ソフトボール部（出場権獲得）
県大会上位入賞	サッカー部 ダンス部

○各部活動名（令和3年度：全33部）

〔運動部〕

- ・陸上競技
- ・野 球
- ・男子バスケットボール
- ・女子バスケットボール
- ・男子バレーボール
- ・女子バレーボール
- ・男子ソフトテニス
- ・女子ソフトテニス
- ・サッカー
- ・卓 球
- ・水 泳
- ・ダンス
- ・柔 道
- ・弓 道
- ・剣 道
- ・ソフトボール



〔文化部〕

- ・写真
- ・演 劇
- ・吹奏楽
- ・合唱
- ・箏曲
- ・美術
- ・書 道
- ・茶華道
- ・科 学
- ・料理
- ・漫画研究
- ・手 芸
- ・文 芸
- ・語学研究
- ・放送
- ・小倉百人一首かるた
- ・ビジネス研究



V 特色選抜について

1 定員の割合

総合学科 30%程度

2 出願するための資格要件

「募集する生徒像」に合致し、校内外の様々な活動でリーダーとして活躍する意志のある生徒で、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する生徒

- （１）高い学力があり、大学進学という明確な目標を持っている生徒で、本校入学後も意欲的に学習に取り組む意志のある生徒
- （２）中学校における部活動等で優れた実績を残し、本校入学後もその活動を積極的に継続して行う意志のある生徒
- （３）中学校時代に生徒会活動・ボランティア活動等で優れた実績を残し、本校入学後もこれらの活動に積極的に参加する意志のある生徒

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間40分 字数500～600字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに資格要件の確認に用いる。
- 2 調査書の「各教科の学習の記録」については、第1学年～第3学年の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
- 3 調査書の点数化されない部分の資格要件に該当するものについては、段階評価を行う。
- 4 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各審議の順に、該当する受検者について総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が特色選抜の募集定員の70%以内で評価が良好と認められる者（ただし、定員に満たない場合は、受検者の70%以内で評価が良好と認められる者）、かつ【資料の取扱い】の3、4の評価がいずれも良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての評価を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。